

第3章

中学2年生

杉本雅子・松本拓也・佐藤愛子
尾方英美・渡辺武志

(1) 目的

中学2年生は、「生命と環境」サブテーマ自分で未来を創る～体験する、課題を追求する～である。中学2年生では、テーマに基づいて課題を設定する。林間学校をからめて、生命と環境についてのブレインストーミングを行う。体験する大切さを林間学校で学んだのち、もう一度、その内容をチェックする。この経験からみずから課題を設定する時間をもうける。このときに仲間で知恵を出し合うことで、人から学ぶ大切さを学習する。さらに、研究テーマから調べる方法を可能なかぎり科学的な手法で学ぶ姿勢を育てる。みずから設定した課題からF.Wを行い、現場の大切さを学ぶ。みずからのテーマを仲間たちに発表し、研究集録にまとめることを通じて、みずからのテーマを探求することで本質にせまる。

(2) 前年度との系統性

中学1年生は「生き方を探る」というテーマで興味ある職業について、フィールドワークを行うまでに必要なスキル（興味ある職業を調べる、探求する、アポイントメントをとる方法、フィールドワークの方法、発表の方法）を学んだ。中学2年生では、1年時と違ってみずからテーマを決定する必要がある。2年生では5月に大きな学校行事として、林間学校がある。この行事は、はじめての宿泊行事であり、長野県上高地や乗鞍の散策等を行う。大自然にふれあうことからの「生命と環境」を例として提示する。昨年度と同様にこの行事で生命と環境に関する具体的な問題点、取り組み、体験を通じて「生命と環境」に対する考え方を育てる。

(3) 実施方法

個人テーマの絞り込みまでは、学年全体で取り組む。特にブレインストーミングや生命と環境についての類分けでは、大教室を用いて生命と環境について学んでいく。類分けを行った後、学年団が5名のため、5グループを作って、テーマに基づいて割り振っていく。

F.Wを行ったあともグループで活動する。直後の発表だけでなく、研究集録をまとめたあと、グループ内で二

人一組になって、お互いの研究内容を分析するなどし、二人で発表を行う。(8分×2=16分)

(4) 内容

前期

日	授業内容 (予定)	使用教室
4月13日	(LT) (中学新歓)	
4月27日	オリエンテーション (林間学校への準備)	図書館
5月8日	生命と環境についてのブレインストーミング	交流ホール
5月11日	(LT) (林間学校)	
5月18日	生命と環境についての類分け (KJ法)	図書館
5月25日	(LT)	
6月1日	個人テーマ絞り込み	教室 図書館
6月8日	(LT)	
6月29日	個人テーマ絞り込み 調べ学習1 (テーマ決め)	教室 図書館
7月6日	(LT) 夏休み課題説明	
9月7日	調べ学習2 フィールドワーク準備 (テーマ決めアポ取り開始)	教室 図書館
9月28日	調べ学習3 フィールドワーク準備 (アポ取り依頼分作成)	教室 図書館

後期

10月12日	調べ学習4 フィールドワーク準備 (依頼分作成 発送)	教室
10月19日	調べ学習4 フィールドワーク準備 (依頼分発送 交通確認)	教室
11月2日	フィールドワーク 事前指導	教室
11月9日	(高1のみ) 中1・中2フィールドワーク、中3・高2研究旅行	F.W
11月16日	(LT) お礼状書き まとめ	教室
12月7日	フィールドワーク発表会	各教室
12月14日	(LT) 研究集録準備	教室
1月11日	研究集録原稿完成	教室
1月25日	二人一組での研究発表会	グループごと

2月22日	二人一組での研究発表会（2）	グループごと
3月8日	まとめ	

※一部、道徳・学級活動の内容を含む

（5）検証評価

方法

課題設定の状況、下調べの内容、グループ分けを行って、担当教員を決める。フィールドワークでの学習、および研究集録により評価を行う。フィールドワーク発表会の際は、生徒たち同士で評価を行い学び合う。

基準

評価を行う際は、テーマに基づいた探求力や提出期限の遵守、発表内容等を鑑み評価する。中学2年生では「生命と環境」というテーマについてみずから課題をたてることになる。中学1年生で行った“職業しらべ”とは違い、課題によっては調べにくい内容になることもある。しかし内容を決定することも大切であり教員はその点に十分な注意を払う必要がある。

（6）教育学部との連携

昨年度から教育学部の窪田先生およびよつば相談室と合同で「こころの授業」を行っている。今年度は自分の気持ちをうまく伝えるため、アサーティブに伝えるための方法を学んだ。自分の気持ちを伝え方や上手な聴き方をよつば相談室の院生によって授業が展開された。

（文責 渡辺武志・松本拓也）